

Circle SaaS

vs

自社開発

Circle SaaS と 自社開発（フルスクラッチ） の比較

フルスクラッチ / アパレル循環型サブスクの運用基盤として比較

基準時点：2026年6月 作成日：2026年6月25日 circle-saas.jp

結論

自社開発は独自要件と完全な所有権を得られますが、初期500万円～・1年以上の開発期間・継続的な保守人件費が伴います。Circleは循環運用に必要な機能を実装済みで提供し、開発リソースを商品とブランドに集中できます。独自性最優先なら自社開発、立ち上げ速度・コスト・保守負担の軽さならCircleが向きます。

料金の実態

初期 500万円～数千万円、開発期間1年以上が相場。加えて決済・保守・セキュリティの継続的な人件費。

機能・コスト比較

機能・運用

	Circle SaaS	自社開発
アパレルサブスク特化の標準機能 レンタル前提の設計	✓	自前構築
会員診断エンジン 7ステップ診断→プラン提案	✓	自前構築
定額レンタル運用 出荷・返却サイクル管理	✓	自前構築
返却品の再販（リコマース）	✓	自前構築
レンタル→購入の転換	✓	自前構築
レンタル在庫・個体管理	✓	自前構築
店舗受け渡し・OMO 同一在庫で店舗連携	✓	自前構築
4つの収益モデルを一体運用 月額・購入・転換・再販	✓	自前構築
自社ブランド表示（ホワイトラベル）	✓	✓
日本語サポート・国内決済	✓	自前対応

立ち上げ・コスト

	Circle SaaS	自社開発
初期費用	¥0	500万円～
月額（基本料金） 決済手数料は別	¥34,800～	保守・人件費
立ち上げ期間	最短14日	1年以上～
レンタル運用の追加開発	不要	すべて自前

どちらが向くか

Circle が向くケース

- ✓ 開発リソースを商品・ブランドに集中させたい
- ✓ 決済（Stripe Connect）や返却・再販ロジックを自前で作りたくない
- ✓ 500万円～の初期投資をかけず、初期¥0・最短14日で事業検証を始めたい
- ✓ 保守・アップデートを継続的に受けたい

自社開発 が向くケース

- 事業の核となる独自要件があり、完全な作り込みが必須
- 専任の開発・保守チームをすでに保有している
- システムの完全な所有権を最優先する

よくある質問

Q. 自社開発とCircle、コストはどちらが有利ですか？

フルスクラッチの相場は初期500万円～数千万円・開発期間1年以上で、加えて決済・セキュリティ・返却ロジックの継続的な保守人件費がかかります。Circleは初期費用¥0・月額¥34,800～で実装済みの基盤を利用でき、総保有コストを抑えやすい構成です。

Q. 独自の要件には対応できますか？

完全な独自要件の作り込みでは自社開発に分があります。Circleは標準機能に加え、SCALEプランのAPI連携やカスタムSLAで個別要件に対応します。

Q. 決済やセキュリティはどうなりますか？

CircleはStripe Connectによるマルチテナント決済とRLSによるテナント分離を実装済みです。自社開発ではこれらをすべて自前で設計・監査・保守する必要があります。

14日間の無料トライアルで、循環運用をそのまま試す

初期費用¥0・カード登録不要。収益シミュレーションと個別相談も承ります。

circle-saas.jp で相談する

出典・参考

フルスクラッチEC構築費用 (wakka)

<https://wakka-inc.com/blog/3569/>

ECサイト構築費用相場 (Web幹事)

<https://web-kanji.com/posts/ec-site-price>

掲載の料金・機能は各社の公開情報 (2026年6月時点) をもとにした当社の比較です。各社は仕様・料金を改定する場合があります。最新の正確な情報は各社の公式サイトをご確認ください。料金は特記なき限り税込・基本料金で、決済手数料やオプション費用は含みません。

Circle SaaS / 本資料は社内での比較・検討にそのままご利用いただけます。最新の料金・機能は各社公式サイトをご確認ください。